

## 「(仮称)滋賀の生涯学習社会づくりに関する基本的な考え方」についてのアンケート結果

県では、少子・高齢化が進行し、人口減少社会となる中、「基本構想」や「教育大綱」を踏まえ、「生涯学習」を基盤とした社会づくりを推進するため、「(仮称)滋賀の生涯学習社会づくりに関する基本的な考え方」の策定に取り組んでいます。

この基本的な考え方の策定に当たって、県政モニターを対象としたアンケートを実施しました。

- ◆調査時期:平成27年10月
- ◆対象者 :県政モニター397人
- ◆回答数 :329人(回答率82.9%)
- ◆担当課 :教育委員会事務局 生涯学習課

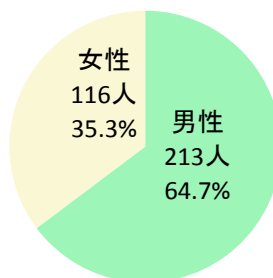
(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 【属性】

#### ◆性別

項目	人数(人)	割合
男性	213	64.7%
女性	116	35.3%
合計	329	100.0%

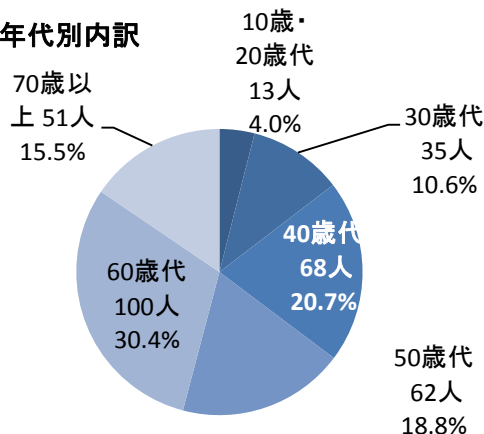
### 性別割合



#### ◆年代

項目	人数(人)	割合
10歳・20歳代	13	4.0%
30歳代	35	10.6%
40歳代	68	20.7%
50歳代	62	18.8%
60歳代	100	30.4%
70歳以上	51	15.5%
合計	329	100.0%

### 年代別内訳

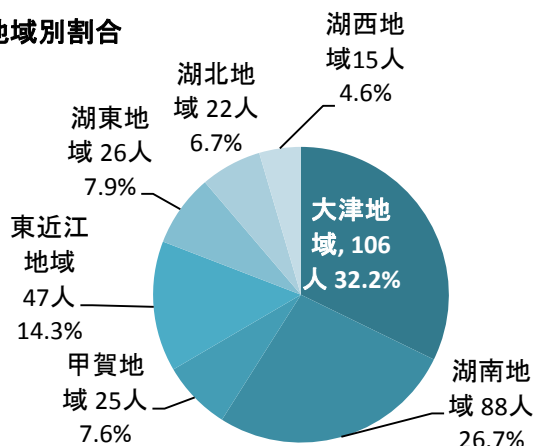


※30歳代から50歳代の現役世代が165人50.2%と約半数を占める

#### ◆地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	106	32.2%
湖南地域	88	26.7%
甲賀地域	25	7.6%
東近江地域	47	14.3%
湖東地域	26	7.9%
湖北地域	22	6.7%
湖西地域	15	4.6%
合計	329	100.0%

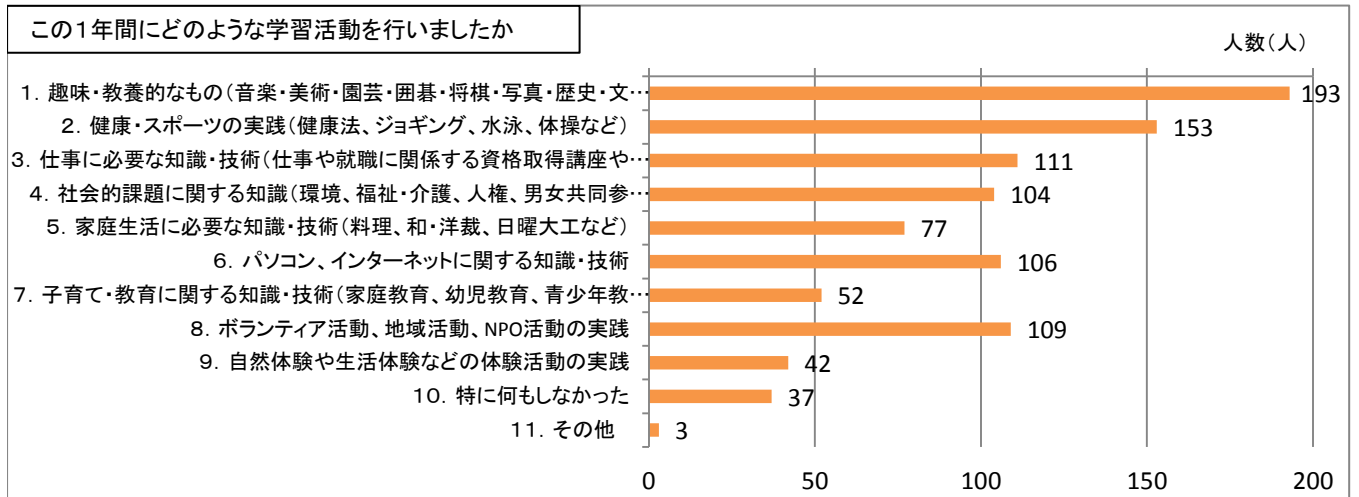
### 地域別割合



※大津・湖南地域が59.0%と半数以上を占める

【問1】あなたは、この1年間にどのような学習活動を行いましたか。(回答チェックはいくつでも) n=329

項目	人数	割合
1. 趣味・教養的なもの(音楽・美術・園芸・囲碁・将棋・写真・歴史・文化など)	193	58.7%
2. 健康・スポーツの実践(健康法、ジョギング、水泳、体操など)	153	46.5%
3. 仕事に必要な知識・技術(仕事や就職に関係する資格取得講座や知識の習得など)	111	33.7%
4. 社会的課題に関する知識(環境、福祉・介護、人権、男女共同参画、少子・高齢化、国際化など)	104	31.6%
5. 家庭生活に必要な知識・技術(料理、和・洋裁、日曜大工など)	77	23.4%
6. パソコン、インターネットに関する知識・技術	106	32.2%
7. 子育て・教育に関する知識・技術(家庭教育、幼児教育、青少年教育、教育問題など)	52	15.8%
8. ボランティア活動、地域活動、NPO活動の実践	109	33.1%
9. 自然体験や生活体験などの体験活動の実践	42	12.8%
10. 特に何もなかった	37	11.2%
11. その他	3	0.9%



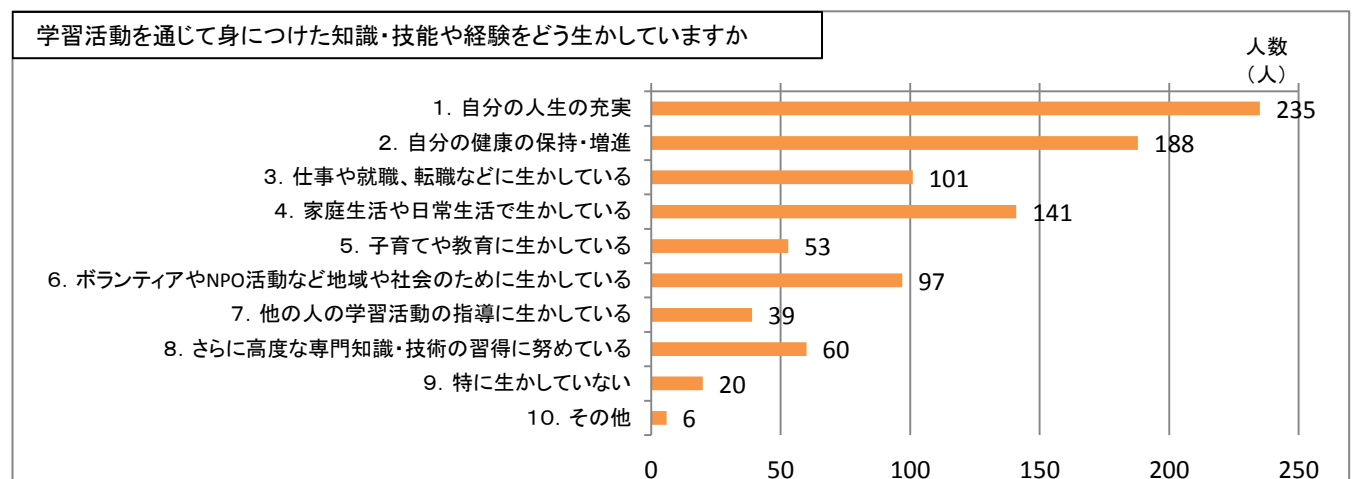
【問2】今まで、学習活動を通じて身につけた知識・技能や経験をどう生かしていますか。(回答チェックはいくつでも) n=329

項目	人数	割合
1. 自分の人生の充実	235	71.4%
2. 自分の健康の保持・増進	188	57.1%
3. 仕事や就職、転職などに生かしている	101	30.7%
4. 家庭生活や日常生活で生かしている	141	42.9%
5. 子育てや教育に生かしている	53	16.1%
6. ボランティアやNPO活動など地域や社会のために生かしている	97	29.5%
7. 他の人の学習活動の指導に生かしている	39	11.9%
8. さらに高度な専門知識・技術の習得に努めている	60	18.2%
9. 特に生かしていない	20	6.1%
10. その他	6	1.8%

【その他の意見(抜粋)】

仕事で培った知識、体験等で社会貢献に反映している

地域活性化の手助けにする



【問3】あなたが生涯学習による成果を地域や社会で生かそうとする場合に、課題となることはどのようなことですか。(回答チェックはいくつでも) n=329

項目	人数	割合
1. 仕事や家事等で時間がとれない	126	38.3%
2. 共に活動する仲間がいない	82	24.9%
3. 拠点となる場所がない	105	31.9%
4. 始めるきっかけがつかめない	106	32.2%
5. 活動の具体的なノウハウがない	88	26.7%
6. さらに知識や技術が必要である	77	23.4%
7. 特にない	49	14.9%
8. その他	15	4.6%

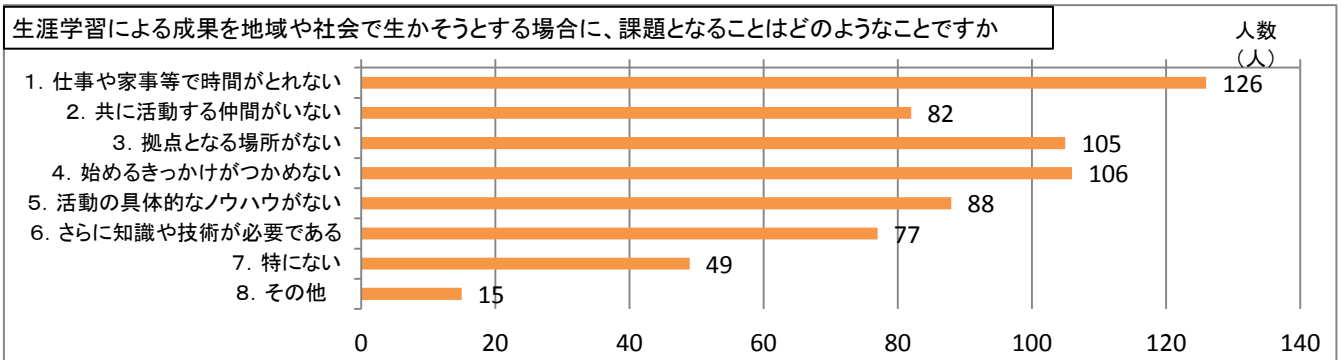
【その他の意見(抜粋)】

家族や周囲の理解が得られない

自分のやりたいと思っていることが出来ないというより、自分のやりたいと思っていること以外のことを地域から求められる。

家人の介護に時間をとられやりたくても出来ない。

就労につながらない



【問4】地域で求められている活動分野は、どのようなものだと思いますか。(回答チェックはいくつでも) n=329

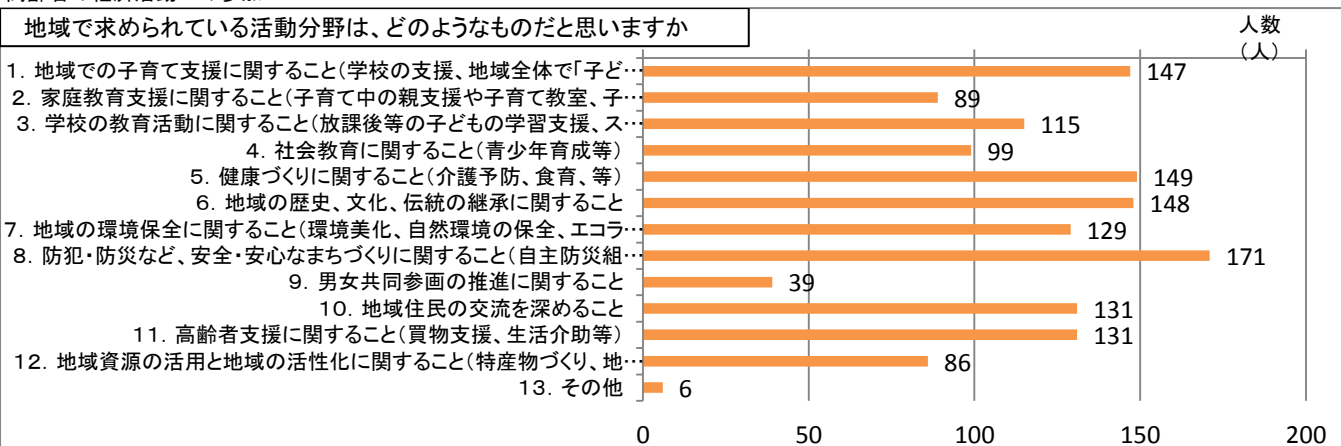
項目	人数	割合
1. 地域での子育て支援に関する事(学校の支援、地域全体で「子どもの育ち」を支援等)	147	44.7%
2. 家庭教育支援に関する事(子育て中の親支援や子育て教室、子育てサポーター等)	89	27.1%
3. 学校の教育活動に関する事(放課後等の子どもの学習支援、スクールガード等)	115	35.0%
4. 社会教育に関する事(青少年育成等)	99	30.1%
5. 健康づくりに関する事(介護予防、食育、等)	149	45.3%
6. 地域の歴史、文化、伝統の継承に関する事	148	45.0%
7. 地域の環境保全に関する事(環境美化、自然環境の保全、エコライフ等)	129	39.2%
8. 防犯・防災など、安全・安心なまちづくりに関する事(自主防災組織、防犯パトロール等)	171	52.0%
9. 男女共同参画の推進に関する事	39	11.9%
10. 地域住民の交流を深める事	131	39.8%
11. 高齢者支援に関する事(買物支援、生活介助等)	131	39.8%
12. 地域資源の活用と地域の活性化に関する事(特産物づくり、地域資源の活用等)	86	26.1%
13. その他	6	1.8%

【その他の意見(抜粋)】

地域の美化推進

高齢者や障害者に限らず、移動に不自由している人の移動の自立

高齢者の経済活動への参加

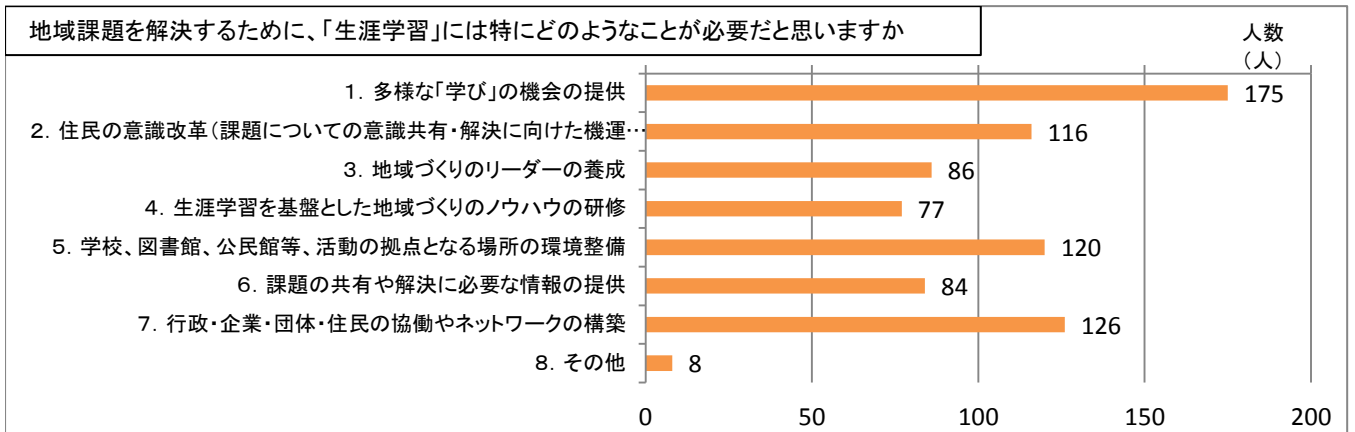


【問5】設問4で回答いただいた分野の地域課題を解決するために、「生涯学習」には特にどのようなことが必要だと思いますか。(回答チェックは3つまで)n=329

項目	人数	割合
1. 多様な「学び」の機会の提供	175	53.2%
2. 住民の意識改革(課題についての意識共有・解決に向けた機運の醸成)	116	35.3%
3. 地域づくりのリーダーの養成	86	26.1%
4. 生涯学習を基盤とした地域づくりのノウハウの研修	77	23.4%
5. 学校、図書館、公民館等、活動の拠点となる場所の環境整備	120	36.5%
6. 課題の共有や解決に必要な情報の提供	84	25.5%
7. 行政・企業・団体・住民の協働やネットワークの構築	126	38.3%
8. その他	8	2.4%

【その他の意見(抜粋)】

もうすこし身近な参加型体験型講座の充実と情報提供  
 更なる専門知識を持つ人への橋渡し

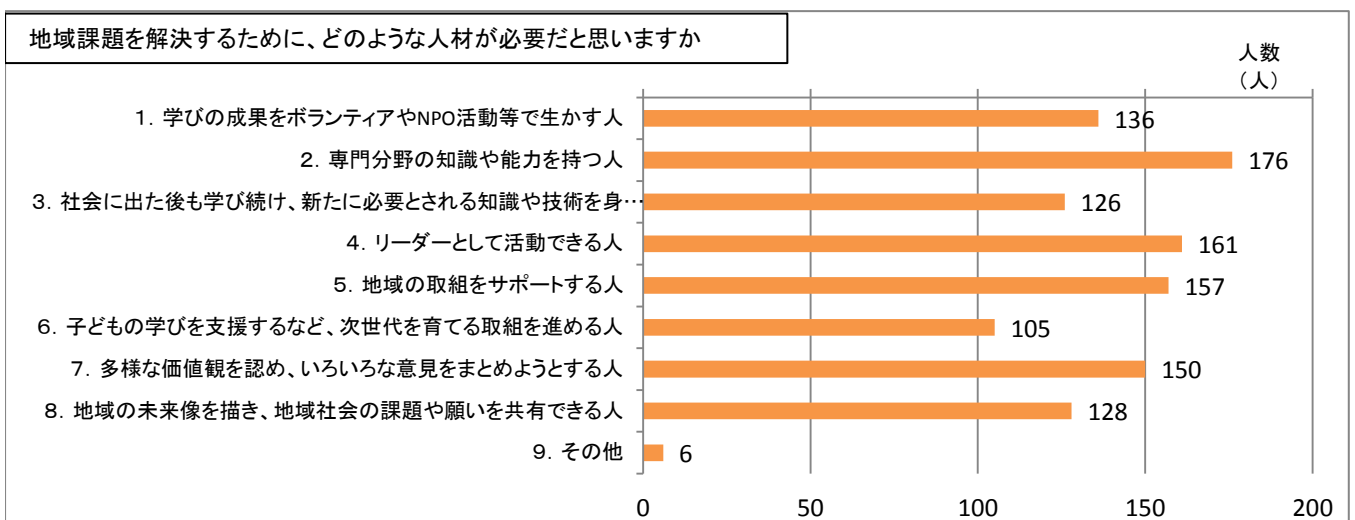


【問6】設問4で回答いただいた分野の地域課題を解決するために、どのような人材が必要だと思いますか。(回答チェックはいくつでも)n=329

項目	人数	割合
1. 学びの成果をボランティアやNPO活動等で生かす人	136	41.3%
2. 専門分野の知識や能力を持つ人	176	53.5%
3. 社会に出た後も学び続け、新たに必要とされる知識や技術を身につける人	126	38.3%
4. リーダーとして活動できる人	161	48.9%
5. 地域の取組をサポートする人	157	47.7%
6. 子どもの学びを支援するなど、次世代を育てる取組を進める人	105	31.9%
7. 多様な価値観を認め、いろいろな意見をまとめようとする人	150	45.6%
8. 地域の未来像を描き、地域社会の課題や願いを共有できる人	128	38.9%
9. その他	6	1.8%

【その他の意見(抜粋)】

民間活用。またお隣さんの情報交流だけでも結構生活の智慧が出てきたりでき子育てサポートしてもらえるので。そんな交流もいいのでは  
 どんな人にも敬意をもって接することができ、話し合いによって問題を解決する粘り強さと誠意をもつ、求心力がある人  
 高齢になっても学ぶ意欲のある人にアドバイスできる人。

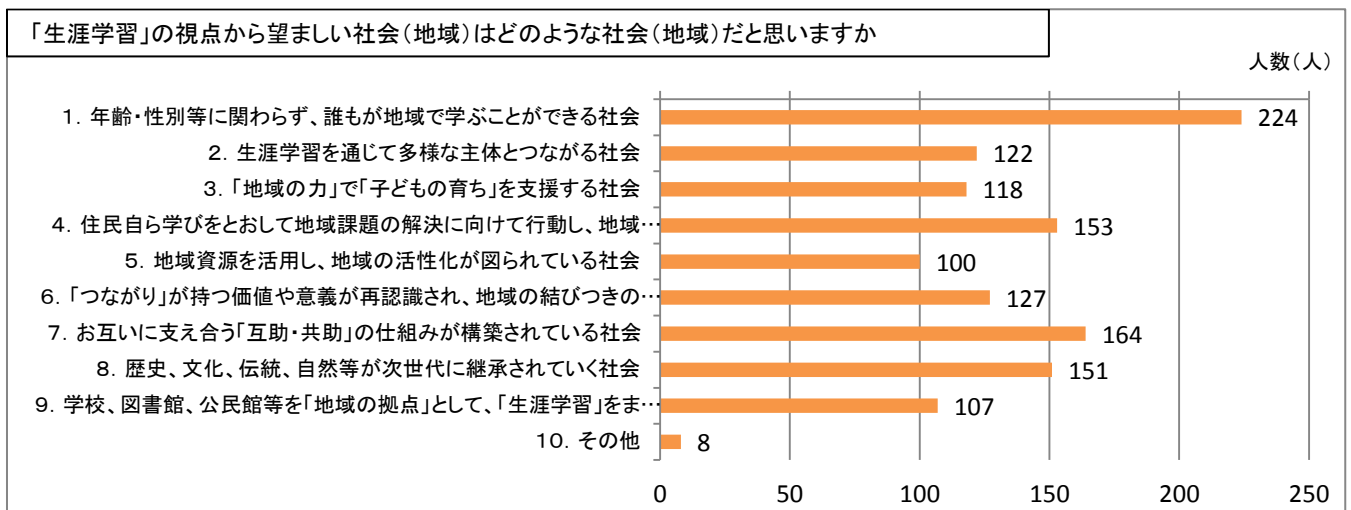


【問7】県では基本構想で「新しい豊かさ」を実感できる社会を目指していますが、「生涯学習」の視点から望ましい社会(地域)はどのような社会(地域)だと思いますか。(回答チェックはいくつでも) n=329

項目	人数	割合
1. 年齢・性別等に関わらず、誰もが地域で学ぶことができる社会	224	68.1%
2. 生涯学習を通じて多様な主体とつながる社会	122	37.1%
3. 「地域の力」で「子どもの育ち」を支援する社会	118	35.9%
4. 住民自ら学びをとおして地域課題の解決に向けて行動し、地域に愛着や誇りを持てる社会	153	46.5%
5. 地域資源を活用し、地域の活性化が図られている社会	100	30.4%
6. 「つながり」を持つ価値や意義が再認識され、地域の結びつきの豊かさが実感できる社会	127	38.6%
7. お互いに支え合う「互助・共助」の仕組みが構築されている社会	164	49.8%
8. 歴史、文化、伝統、自然等が次世代に継承されていく社会	151	45.9%
9. 学校、図書館、公民館等を「地域の拠点」として、「生涯学習」をまちづくりの基盤とする社会	107	32.5%
10. その他	8	2.4%

【その他の意見(抜粋)】

それを学んで地域や社会にどう役立てるのが見える社会

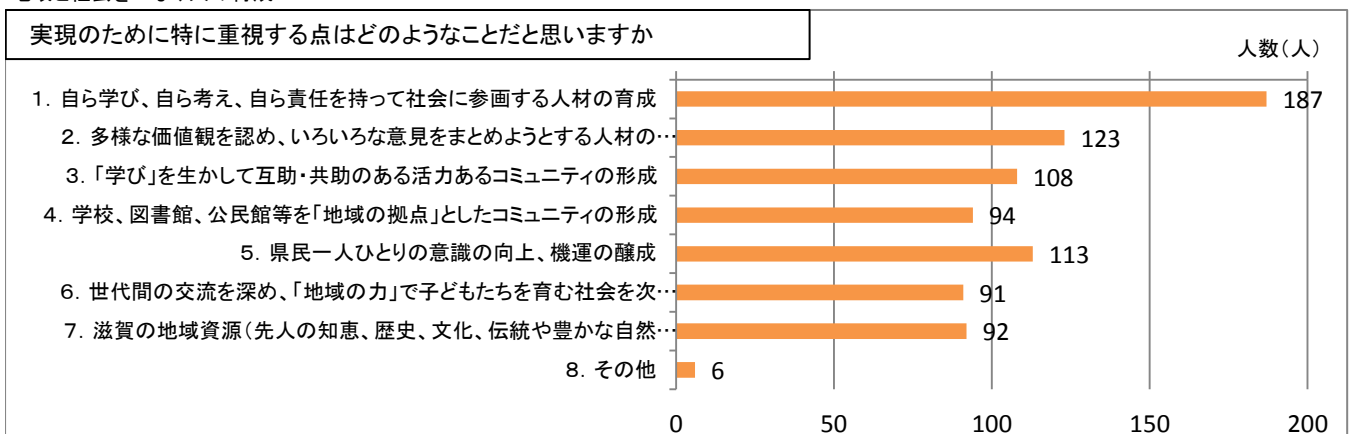


【問8】設問7で回答いただいた社会の実現のために特に重視する点はどのようなことだと思いますか。(回答チェックは3つまで) n=329

項目	人数	割合
1. 自ら学び、自ら考え、自ら責任を持って社会に参画する人材の育成	187	56.8%
2. 多様な価値観を認め、いろいろな意見をまとめようとする人材の育成	123	37.4%
3. 「学び」を生かして互助・共助のある活力あるコミュニティの形成	108	32.8%
4. 学校、図書館、公民館等を「地域の拠点」としたコミュニティの形成	94	28.6%
5. 県民一人ひとりの意識の向上、機運の醸成	113	34.3%
6. 世代間の交流を深め、「地域の力」で子どもたちを育む社会を次世代へ継承する	91	27.7%
7. 滋賀の地域資源(先人の知恵、歴史、文化、伝統や豊かな自然など)を体験を通して次世代へ継承する	92	28.0%
8. その他	6	1.8%

【その他の意見(抜粋)】

地域と社会をつなぐ人の育成



【問9】生涯学習を基盤とした社会(地域)づくりのために、県にどのような取組を期待しますか。(回答チェックはいくつでも)n=329

項目	人数	割合
1. 講座や研修についての情報提供	162	49.2%
2. 「地域づくり」に取り組むリーダーやコーディネーター等の人材育成	143	43.5%
3. 適切な内容や時間(期間、時間帯)の講座や研修の提供	148	45.0%
4. 学習活動の機会の少ない地域での講座の提供や支援	106	32.2%
5. 学習成果を生かせる仕組みや場の設定	137	41.6%
6. インターネットや通信教育による在宅学習機会の拡大	107	32.5%
7. 活動につながる仲間づくりやサークル活動、NPOや団体活動の支援	121	36.8%
8. 他の団体や民間事業者と交流できるネットワークづくり	93	28.3%
9. 学習や活動の機会、参加方法、指導者等についての情報提供および相談	100	30.4%
10. その他	12	3.6%

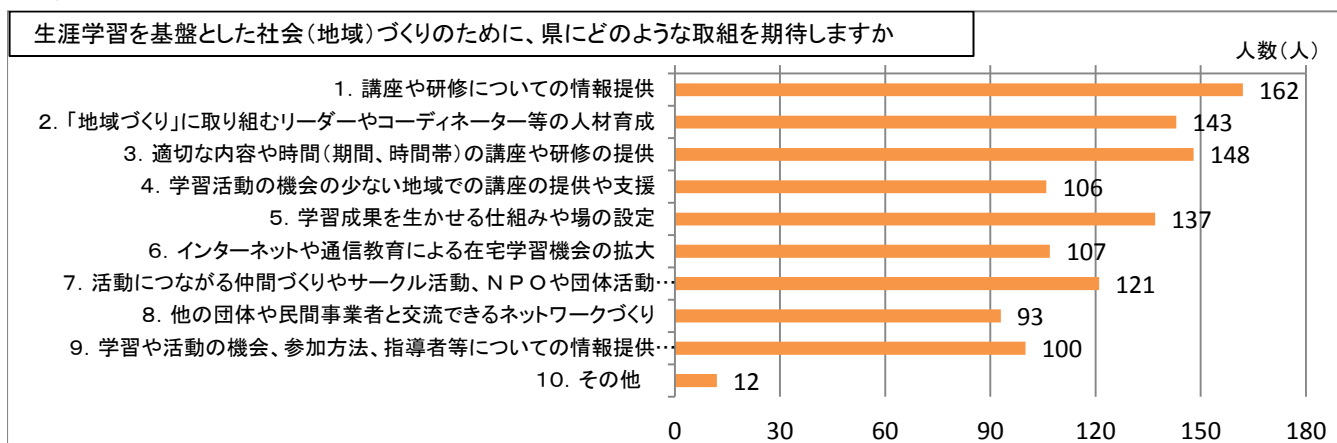
【その他の意見(抜粋)】

県民にとって真に効果が期待できる人材バンクの構築と整備

活動を行いたいときに、相談する窓口をわかりやすくしてほしい。

他の自治体の成功事例を知りたい。ディスカッションする機会が必要。

河川敷の活用など、地域の人が集える場の整備・提供



【問10】「学校」を拠点とした地域づくりの活動はどのようなものが望ましいと思いますか。(回答チェックはいくつでも)n=329

項目	人数	割合
1. 開放講座等の開催	188	57.1%
2. 空き教室等の有効活用(子育て教室や講座等)	168	51.1%
3. 学校図書館の運営や図書の整備に協力し、子どもたちの読書活動を支援	121	36.8%
4. 高齢者による子どもたちへの地域の祭りや昔遊び等の伝承、交流による地域づくり	149	45.3%
5. 放課後等における子どもたちの学習支援	123	37.4%
6. 部活動指導など、外部指導者としての支援	101	30.7%
7. その他	11	3.3%

【その他の意見(抜粋)】

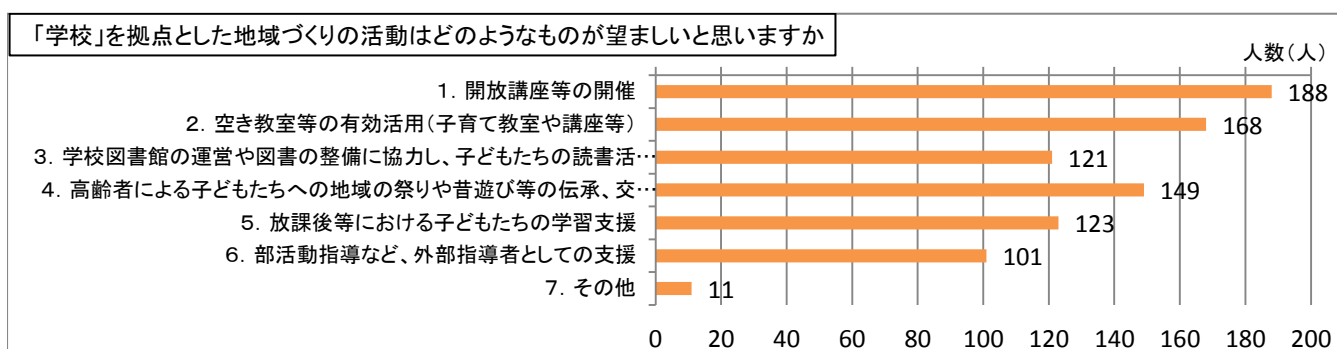
PTA(保護者)と学校、地域住民と学校の連携した課題解決のための活動

継続していける活動の仕組みづくりや在り方

ボランティアではなくしっかりと責任を分担できる支援者によるかかわり

学校に関係者以外が侵入することへの不安があります。学校に入る際に身分証明書の提示等の対応を行ってほしい。

まず、地域の学校の教師を「守る」必要がある。



【問11】「図書館」「博物館」「美術館」等社会教育施設を拠点とした地域づくりの活動としてどのようなものが望ましいと思いますか。(回答チェックはいくつでも)n=329

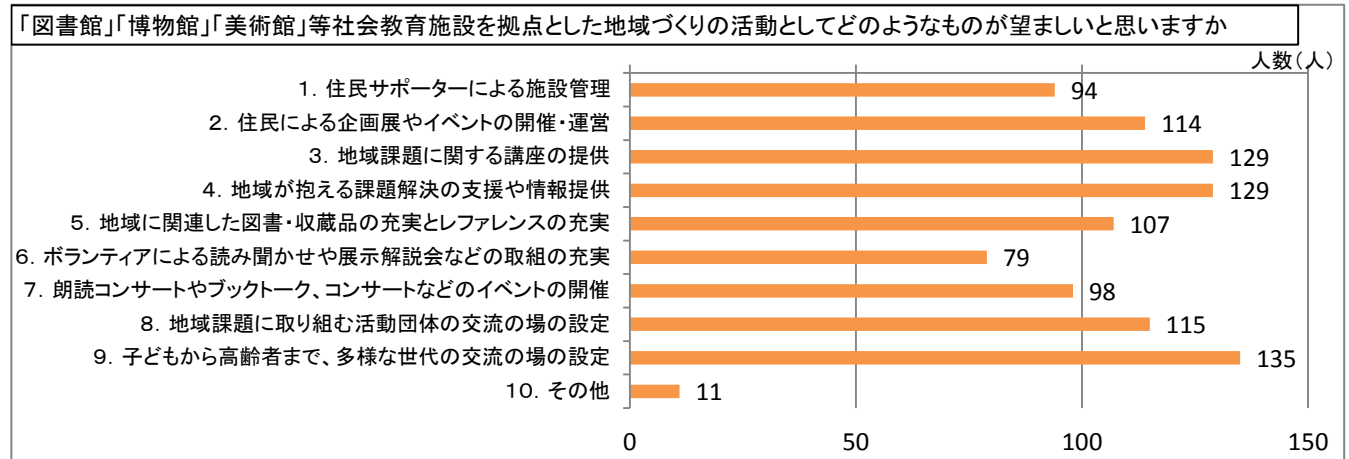
項目	人数	割合
1. 住民サポーターによる施設管理	94	28.6%
2. 住民による企画展やイベントの開催・運営	114	34.7%
3. 地域課題に関する講座の提供	129	39.2%
4. 地域が抱える課題解決の支援や情報提供	129	39.2%
5. 地域に関連した図書・収蔵品の充実とレファレンスの充実	107	32.5%
6. ボランティアによる読み聞かせや展示解説会などの取組の充実	79	24.0%
7. 朗読コンサートやブックトーク、コンサートなどのイベントの開催	98	29.8%
8. 地域課題に取り組む活動団体の交流の場の設定	115	35.0%
9. 子どもから高齢者まで、多様な世代の交流の場の設定	135	41.0%
10. その他	11	3.3%

【その他の意見(抜粋)】

参加型ワークショップ等を多く開催して、様々なバックグラウンドの方に来てもらえるようにする。

他の地域と比較できる講座

無理に地域活動と結びつける必要はない。自由な研究や学習の妨げになる。

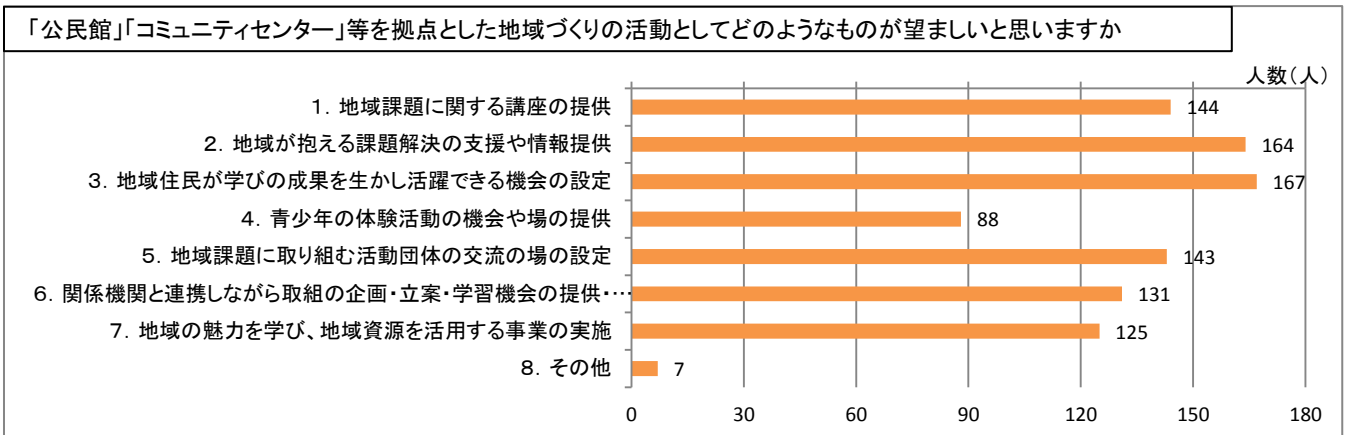


【問12】「公民館」「コミュニティセンター」等を拠点とした地域づくりの活動としてどのようなものが望ましいと思いますか。(回答チェックはいくつでも)n=329

項目	人数	割合
1. 地域課題に関する講座の提供	144	43.8%
2. 地域が抱える課題解決の支援や情報提供	164	49.8%
3. 地域住民が学びの成果を生かし活躍できる機会の設定	167	50.8%
4. 青少年の体験活動の機会や場の提供	88	26.7%
5. 地域課題に取り組む活動団体の交流の場の設定	143	43.5%
6. 関係機関と連携しながら取組の企画・立案・学習機会の提供・取組のコーディネート	131	39.8%
7. 地域の魅力を学び、地域資源を活用する事業の実施	125	38.0%
8. その他	7	2.1%

【その他の意見(抜粋)】

拠点を提供しても、そこへ若い世代をいかに呼び寄せるかが問題



**【問13】その他、生涯学習についてご意見等がありましたらお聞かせください。(抜粋)**

**【生涯学習のあり方】**

個人の人生の充実や将来に生かすため、趣味に関するなどの学習と、地域社会に関する学習があると思う。個人に関するものは、様々な学習方法が存在する。このため行政企画するものとしてはバラエティに富んで選択肢が多くあることは望ましいが、経費の面からも限界があり可能な範囲で充実を図っていただきたい。一方で、地域社会の諸問題に関する知識向上や参加を促すものは、その問題の重要性を県民に理解を求める努力が必要であるとともに、参加しやすい企画運営が望まれる。

個人で生涯学習の一環として趣味や様々な分野について学ぶということは今までも盛んに行われてきたと思うが、地域コミュニティの希薄化が問題となっている今、そういった学習から得られた知識や技術をコミュニティの中で生かし、伝えることが地域コミュニティの再生の一助となる可能性がある。  
従って、今後は、生涯学習で得た知識や様々な物事を地域で生かす場、生かす仕組みづくりをより考えていく必要がある。

生涯学習をした後の活かす場所やその後の学びにつながる場が少ないように感じているので、そういう場の提供も多くなれば良いと思う。

少子高齢化が進む中で、生涯学習の充実は欠かせないと思う。企業で働く人は、それなりにモチベーションを得る機会があるかもしれないが、高齢者や専業主婦など、あまり環境的に学習機会が無い人たちへの生涯学習方法を、自治体が提供すべきだと思う。まず、きっかけを与え、場所を提供し、仲間を作ることも大事。地域のつながりを密にするためにも、生涯学習の推進は必要不可欠だと思う。

近年、生涯学習の機会は増加していると思うがもっと増えてもよい。生涯学習を望む目的は様々だが、単に教養を身につけるのみでなく、学習によって得た成果を地域や人々のために生かすことをできれば、より活性化するのではないかと。

**【学習機会や学習方法】**

インターネットの普及により、情報、知識の習得には事欠かなくなったが、インターネットでは会得できない体験や交流、創造性の育み等の活動を行う必要を感じる。

子育てで忙しいとなかなか外に出る機会がない。自治会もないので、余計に情報が手に入らない。このような人がまだ沢山いると思うので、まずはあらゆる人に周知させるようにしてほしい。

学びたいのに時間が合わずに諦めることが多いので、平日の昼間ばかりではなく、平日の夜なども学べたらありがたい。

主婦・身体の不自由な人など学習したくてもできない人が多いと思う。そのような人々が学習しやすいようにインターネットで学ぶ方法や本人の都合の良い時間にボランティアの方が出向く方法などがあれば良い。

**【地域づくりの担い手】**

生涯学習を通じての地域活性化の担い手は、時間的余裕があり、また経験豊富な前期高齢者がふさわしい。しかし定年まで勤めると余程のことがない限り、地域に根差した活動のきっかけがない。県などはこのきっかけ作りにアドバイス的な活動をして欲しい。

年金世代の元気な方たちにもっと小さな子ども達にかかわっていただけると親たちも安心して子育てできる。少子高齢化で子どもが少ない分、多い高齢世代の元気なお年寄りに頑張ってもらいたい。

比較的余暇時間がある高齢者がリーダーとなり各分野の取り組みを推し進めていくことが重要。地域の活性化、課題解決、文化・伝統等、それぞれ高齢者の得意分野において押し進める環境作りを行政が取り組んでほしい。

生涯学習という言葉から老人主体の取り組みとなり底辺が広がらない原因となっているのではないだろうか。専門的な知識、技能を持つボランティアによる小学校のスポーツ少年団の強化や中学、高校のレベルアップなど子どもたちをもっと積極的に取り込んで、最近目に余る非行化防止に役立てばよいのではないかと。また、高齢者も年齢層の異なったものと交流を図ることにより活力が生まれるのではないかと。



【県に求めること】

市町村の図書館だけでなく、学校内の図書館をもっと充実させるべき。司書を活用して、学ぶ方法を子どもたちに伝えるべきだと思う。

共に学ぶ仲間を集めたくても、夜間開放している公の施設が少ない。

学習が継続するような持続的な行政側のサポートが必要。  
また、さまざまな情報を取得し、地域、世代等に合うようにアレンジし、それらの情報を提供し、バックアップしていけば、学習がより広がっていくと思う。

レイカディア大学の卒業生であるが、仲間には多くの活動家がいる。この大学の意義は大きく、ぜひ、今後も継続をしてほしい。

生涯学習を生かす場として、貧困世帯の子どもの学力アップを支援できないか検討してみてはどうか。子どもの格差間での学力低下は大問題だと思う。